

日・ガーナ質の高いインフラ対話

(1) 日程：平成29年11月24日(金)

(2) 場所：ガーナ共和国 アクラ市内 国際会議場

(3) 主催：(日本側)国土交通省 (ガーナ側)道路・高速道省

(4) 参加者：両国で約50名

(日本側) 国土交通省(石垣国際建設産業企画官)、在ガーナ大使館(富田参事官)、JICAガーナ事務所(星所長)、日本企業(アフリカ・インフラ協議会会員企業の建設、コンサル、商社、メーカー10社)等 約20名

(ガーナ側) 道路・高速道省(クワシ・アモアコ=アタ大臣、ジョセフ・ゴドウィン・ブロック次官等)、インフラ関連政府機関・現地企業等 約30名

(5) 概要：

会議冒頭、道路・高速道省アタ大臣より、日本からガーナへのインフラ協力への期待が表明されました。続いて、国土交通省より我が国の「質の高いインフラ」の取組を紹介しました。また、本年5月の官民インフラ会議の成果を踏まえ、我が国インフラ関連企業より「質の高いインフラ」の事例やインフラ関連技術等を紹介し、ガーナ側政府関係機関より、現地投資環境やインフラ現況・ニーズ等について発表し、意見交換を実施しました。その後、対話に出席した日本企業とガーナ企業が、ビジネス・マッチングを行いました。

また、ガーナ側のニーズの高い「道路・橋梁(老朽化対策含む)」「交通渋滞対策」の分野について重点的に議論するテーマ別のサブワーキンググループを設置すること、「第2回 日・ガーナ質の高いインフラ対話」を来夏開催すること、に合意しました。



「道路・高速道省 アタ大臣の冒頭挨拶」



「在ガーナ日本国大使館 富田参事官挨拶」



「会議の様子」



「ビジネスマッチングの様子」